

地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	大阪府藤井寺市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	藤井寺市西地区文化遺産総合活用推進事業	【計画の改善時期】	
4 実施計画期間	平成 31 年度 ～ 平成 31 年度		
5 実施計画の概要			
<p>藤井寺市辛國神社禮大祭で使用する藤井寺山車（地車）は毎年秋の祭禮で囃子を奏で町内を曳行して五穀豊穡・無病息災を祈願して町会の子供からお年寄り迄、幅広く地区住民一丸となって盛大に執り行われる地区最大のコミュニティーの原動力となっている。</p> <p>藤井寺の山車の歴史は古く大正6年に某所より堺市萬崎地区が購入、その後、藤井寺地区が譲り受け現在に至る。大工は大佐12代目川崎宗吉。彫師は彫又（堺彫物屋又兵衛）で彫又の歴史から紐解くと明治中頃に新調された山車と推測される。</p> <p>藤井寺地区所有の山車（地車）が長年の曳行で各部材が劣化して子供達が大勢搭乗するにあたり、屋根を支える柱が屋根荷重にて接続部分の臍が痩せて揺れの原因になり、山車荷重を支える台木も長年の使用により歪が大きくなり、安全曳行に支障を来す状態である。</p> <p>このような歴史的価値を有する地区の大切な「宝」である山車や禮大祭を守るべく、子供達が搭乗する山車の安全性を保つ保全処置として部材の修復を専門業者にて計画する。</p> <p>これらを踏まえ、市内の伝統文化の次世代継承や文化遺産の公開活用促進による地域活性化を推進するため、以下の取組を実施する。</p> <p>また、実施計画期間中に実施する他の文化遺産を活用する事業等と有機的な事業展開を図り、地域全体で文化遺産を活用した地域の活性化や次世代への継承に努める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 藤井寺地区所有山車保存修理事業 2. 辛國神社禮大祭保存伝承のための囃子太鼓体験事業 3. 辛國神社禮大祭祭保存伝承のための映像記録事業 			
6 実施体制			
<p>補助事業は次の団体が実施します。 藤井寺市地域文化遺産活性化実行委員会 （藤井寺市商工会、藤井寺市観光協会、藤井寺市観光ボランティアの会等で構成。）</p> <p>指導等は以下の担当課が行います。 藤井寺市教育委員会事務局教育部文化財保護課</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 14,727 千円	平成31年度申請額： 7,831 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	

9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）

- 1、今回の事業で修理や体験曳行を行うことが子供たちに対して興味関心を引く機会となっており、次世代の担い手が育つことが期待される。また市内外各地域が秋祭りや山車（地車）について情報を交換し、地区住民に対し保存継承や藤井寺西地区に伝わる民俗習俗の文化的価値の継承によるすそ野の拡大。
- 2、秋祭りに使用する山車（地車）に修復現場を記録作成する事で、後世に貴重な修理の技術及び工程を見て確認出来、映像を後世に残すことにより、町内外にも情報の発信が出来る。
- 3、市内各保存団体への保存継承に対する啓蒙。
- 4、事業の実施により、まずは山車の保存、祭礼の継続が図られた点が大きな効果であり、イベントとしての山車曳行行事だけではなく、伝統文化に対する町民の関心や意識の向上が図れる。特に修理の際の墨書きや銘の発見、専門家による山車自体の解説など、各地区の山車や蒲団太鼓の来歴や構造が明らかになり、住民に共有されて地元の誇りとなる。
- 5、地区の住民や子供達が、秋祭りの伝統や面白さを再認識し、地域の活性化に繋がる、また、普及啓発事業により町内外からの祭礼見物客の増加。
- 6、藤井寺山車修復作業の公開事業を開催することにより、地域の貴重な文化財としての藤井寺山車の歴史的価値を見出し、長く記録保存することができ、修復作業の様子をビデオや写真等で記録を活用し、文化財的価値のある藤井寺山車の修復技術を地域で広く共有することができる。
- 7、映像記録DVD配布を藤井寺市内各小・中学校についてはDVDを鑑賞して市内の歴史ある辛國神社御例祭を広く知って地域の禮大祭継承の大切さを藤井寺市西地区文化遺産総合活用推進事業を通して認識して頂く。本事業の映像記録DVDを府内の図書館への配布を通じて地域に伝わる継承文化の伝承によるすそ野の拡大を図る。

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）

事業概要：	
事業概要：	
事業概要：	

11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

12 担当部局

地方公共団体 担当部局課	藤井寺市教育委員会事務局教育部文化財保護課
-----------------	-----------------------

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 1 :	その他					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 1 :	映像記録の貸し出し(又は利用)回数			関連事業:		
目標値 1 :	【現状値】 平成 30 年度 0 回 ⇒ 【目標値】 平成 31 年度 200 回					
設定根拠 1 :						
進捗状況 1 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
回	回	回	回	200 回	回	
				100%		
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 2 :	祭礼準備から曳行に至る中で、その運営にかかわった住民の数			関連事業:		
目標値 2 :	【現状値】 平成 31 年度 100 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 130 人					
設定根拠 2 :						
進捗状況 2 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
人	人	人	人	130 人	人	
				100%		

